



※給湯機 水・湯側共、必ずバルブを取り付けて下さい。
(給湯機メンテナンスの際、必要です。)

※給湯機 水・湯側共、必ず銅管を使用して下さい。
(加圧装置本体と循環させるため、両側共高温になります。)

※1次側・2次側・給湯器廻り、バルブは現場手配となります。

※補給水(市水)管はその地域の[水道局施工基準]等の法規に従い、施工して下さい。
 ※給水配管には錆びの発生する管材料は使用しないで下さい。(HIVP・VLP)を御使用下さい。
 ※給湯配管には錆びの発生する管材料は使用しないで下さい。(CU・SUS)を御使用下さい。
 ※洗髪器給水・給湯は、ユニットからの二次側配管になります。(市水の使用は不可!)

図面No.	工事名	図面	設計No.	製図			不二技研工業株式会社			
		縮尺	口付 応急SW 2012. 12 2010. 02	検印	検印	検印				本社 名古屋市西区こも原町232
	F3GMR(H)W 標準配管図	1/10					東京支店 川崎市高津区溝口6-6-23	FAX 052-502-7526	TEL 044-833-4466	FAX 044-833-4458